

NANKOKU 比田井南谷展

ひだい

なんこく

これは「書」なのか？「絵画」なのか？



「N160219」 93.5×184.0cm

書家・比田井天来、小琴夫妻の二男に生まれた比田井南谷（1912〜99）は45年、中国古典書にあった「電」の一字に惹かれ、前衛書「電」の

ヴァリエーション」を書き、書壇に衝撃を与えた。50年以降アメリカに足場を置き、アメリカ抽象表現主義作家たちと交流しつつ国内外で個展開催を重ねた。下図から丁寧に構成される毛筆の造形。彼が「心線作品」と呼んだ「文字を書かない書」は絵画的であるが、原点には約3千年を数える書の歴史があった。約30点を展覧する今展で、毛筆で表現しきれない限りを尽くした未知の創造物を体感したい。

★6月11日(土)〜7月2日(土)加

島美術（東京都中央区京橋3

1-3-2） ☎03-3276-

0700 困無休 料無料